



「GPEC in 愛知」特別号！！

今月は、いよいよ間近に迫った「GPEC in 愛知」特集！開催に先駆け、展示内容を少しだけご紹介します。当日、ご来場予定の方もそうでない方も、ぜひチェックしてみてください！



注目ポイント・その1

リフティング式イチゴ栽培システムの実機を展示します！

上下可動式の栽培システムで、栽培ベッドの高さを自在に変更でき、作業効率や作業姿勢の改善に貢献します。また、栽植株数を大幅に増やすことができるので、反収アップが期待できます。独自のリフティング構造やチェーン&スプロケット構造により、原動機や駆動部への負荷を軽減しているため、従来の可動式栽培システムに比べ、安全性が向上しています。



注目ポイント・その2

大仙が提案する「Light：明るい」かつ「Right：正しい・適切な」栽培空間を創り出すNewモデル「L⇄Rightハウス」を公開！

ハウス本体の構造や部材などを吟味し、耐候性を維持しながら高い採光性と換気性にこだわって開発した次世代型ハウスです。屋根垂木の間隔を広げ、天窗を両天連窓タイプを採用するなど、より明るく、より涼しいハウスを目指しました。当日は実物をブースに建設し、間近から新型ハウスをご見学いただけます！



ここではご紹介しきれませんが、他にもまだまだ内容盛りだくさんで準備をしています。当日会場へお越しの方は、ぜひ大仙ブースにお立ち寄りください。心よりお待ちしております。

施設園芸・植物工場展 2021 (GPEC) Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

【開催概要】

- テーマ：「未来につなげるNIPPON農業」
- 公式HP：<https://www.gpec.jp/>
- 会期：2021年7月14日(水)～16日(金) 開催時間 10:00～17:00
- 会場：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) 展示ホールB
(愛知県常滑市セントレア5-10-1)
- 入場料：1,000円(税込)
 - ※来場登録制
 - ※Web事前登録者・招待券持参者は無料
 - (来場事前登録：<https://www.tenjikai-uketsuke.com/ecscripts/reqapp.dll>)

大仙ブースは
J-20!



6月24日（木）に千葉大学植物工場拠点の10周年記念講演会が開催されました。

千葉大学植物工場拠点は、2011年植物工場の実証展示、各企業の生産性や技術開発の競争を促進し、領域横断的なコンソーシアムを構築することを目的とし、農林水産省による植物工場プロジェクト実施拠点7カ所の1つとして設立されました。現在では、太陽光型植物工場6棟、人工光型植物工場4棟が設置、運営されています。

設立当初は、直前に発生した東日本大震災の影響による工期遅延や仕様変更など、多くの課題や周囲からの反対の声もあったそうです。しかし、全国に先駆けて雨水を原水として利用するシステムを導入し、脱化石燃料を目指す地球環境を考慮した、当時日本最大の植物工場実証展示施設として、設立後には周囲の予想を上回る反響を呼びました。日本全国だけでなく中国、韓国、アメリカ、ヨーロッパなど世界中から多くの見学者が訪れ、世界を牽引する役割を担っています。一方で、課題も残されており、生産性の改善やヒートポンプの利用率など変革が求められています。



植物工場研究会副理事長である丸尾先生は、「今後は農業人口の急激な減少や高齢化、脱炭素の動きに対応するため、抜本的な革新が必要不可欠である」と話されました。そのため、植物工場専用品種の育成やエネルギー転換、省力化、労働生産性の向上が必要であり、これらに向けた具体的な行動が急務となっています。



アンテナ掲示板



農林水産省では、持続可能な食料システムの構築に向け、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～」を策定しました。

みどりの食料システム戦略では、2050年までに目指す姿として、以下の項目などを目標として掲げています。

1. 農林水産業のCO₂ゼロエミッション化の実現
2. 化学農薬の使用量をリスク換算で50%低減
3. 化学肥料の使用量を30%低減
4. 耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%、100万haに拡大
5. 2030年までに持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現
6. *エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大
7. ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現



例えば園芸用施設では「2050年までに化石燃料を使用しない施設への完全移行」が目標として掲げられ、省エネ型施設園芸設備の普及等の取り組みが計画されています。

みどりの食料システム戦略、及び関連資料は農林水産省ウェブサイトからご覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/team1.html>

*エリートツリー：地域の人工造林地において、最も成長が優れた木として選抜された「精英樹」のうち優良なもの同士を人工交配によりかけ合わせ、その中からさらに優れた個体を選んだもの

ランナー vol.45 2021年7月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 温室事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※ メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。